

# 霜月 ひふみのあゆみ

ひふみ投信 11月度 ご報告書

2009年12月4日号

レオス・キャピタルワークス株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第1151号

加入協会: 社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会



RHEOS CAPITAL WORKS

お客さまの資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、誠にありがとうございます。  
運用責任者から皆さまへのメッセージならびに2009年11月の運用状況などをご報告いたします。

## ■11月のひふみ投信の運用環境・今後の見通し

### 大きく変動したマーケット

11月後半以降、この2週間の金融市場はダイナミックな変化がありました。

まずは為替が大きく変動しました。投機筋の仕掛けもありましたが、中東発の「ドバイショック」が引き金となりました。

「ドバイ・ショック」は、ドバイ首長国が25日に発表した政府系の投資持ち株会社ドバイ・ワールドと、その不動産子会社のナヒールの債務返済の一時凍結要請が発端になりました。ドバイ・ワールドの負債総額は約600億ドル(約5兆円)。債務不履行の懸念が強まり、他の新興国企業の資金繰りにも不安感が一気に広がりました。

資金の貸付を行っている欧米を中心に金融不安の恐れが出てきて、比較的安全資産だと見られていた円が買われる展開になりました。それにともない、世界の株式市場が大きく下落し、特に日本の株式市場は円高の影響を受けて輸出産業が売られる展開になり、一時は9000円割れに近い水準まで下落しました。

また、日銀の12月1日の臨時の金融政策決定会合により、低金利政策の維持と追加的な金融緩和策に踏み切ることで、株式市場には安堵感が広がり、為替は円安方向に、株式市場は上昇基調に転じ、日経平均株価は一時1万円を回復するなど大きな乱高下を示しました。

### ひふみ投信は守りながらふやす姿勢を堅持

ひふみ投信は「守りながらふやす」という考え方を継続しています。大きな乱高下の影響は比較的受けずに安定的に推移しています。この乱高下時は慌てずに特に大きな売買を控えていました。

なお、11月はいくつかの銘柄に追加投資しました。今後も基本として「内需成長」銘柄中心の銘柄構成には変わりはないのですが、「外需成長」銘柄群がリターン・リバーサルで上昇するかもしれない可能性も鑑み、少しずつですが、輸出・ハイテク関連および環境関連の企業への投資比率をあげることも考えています。

今後については、ドバイショックの影響、おそらく振るわないであろう日米のクリスマス商戦、為替の動向、世界の追加経済政策の規模とタイミング、米国の住宅市況の動向などを勘案すると、株式市場の一本調子の回復は見込めないと考えています。引き続き慎重な姿勢をもち、現金比率を高めに保持しながら、注目している銘柄が割安になるタイミングを計って投資をしていきたいと考えています。

当社では「ひふみ投信」のセミナーを毎月開催しており、12月は福岡・1月は横浜でもご説明を行ないます。

「ひふみ投信」にご興味をお持ちのお客様におかれましては、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

(ひふみ投信 運用責任者 藤野英人)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

## ■ ひふみ投信の特色について

ひふみ投信は、お客さまの長期的な資産形成に貢献するために、円貨での信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、国内・外の上場株式に投資することにより、積極運用を行ないます。

## ■ 基準価額について（「ひふみ投信」の値段のことです）

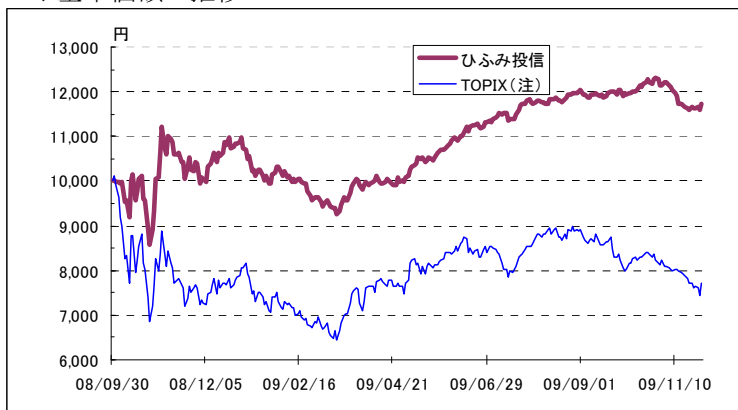
### ◆ 基準価額の推移

基準価額	
2009年11月30日時点 1万口当り 11,734円	

基準価額のおゆみ [騰落率]		TOPIX騰落率
過去1カ月	-3.49%	-6.12%
過去3カ月	-2.38%	-13.03%
過去6カ月	9.66%	-6.46%
過去1年	12.53%	0.61%
設定来	17.34% (※1)	-22.76% (※2)

※1 設定来の基準価額の騰落率は、当初募集価額(10,000円)から2009年11月30日までにおける数値です。

※2 設定来のTOPIX騰落率は、当初設定日前日である2008年9月30日から2009年11月30日までにおける数値です。



(注) TOPIXは、当初設定日前日である2008年9月30日の値(1087.41)を10,000として指数化しています。

※基準価額は、信託報酬(年1.029%(税抜年0.980%))を控除した後の数値です。

TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参考として記載しています。  
TOPIXとは・・・東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額(株数×1株当り時価)を指数化したものです。  
日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。

## ■ 「ひふみ投信」の資産内容について (2009年11月30日時点)

皆さまからお預かりした大切なご資金で、どのように運用を行なっているのかをご報告いたします。

### □ 資産の内訳

純資産総額	4.38億円
うち 株式	59.65 %
うち 預金その他	40.35 %

国別の割合	
日本株式	100 %
海外株式	0 %

受益権総口数 (※) 373,778,685口

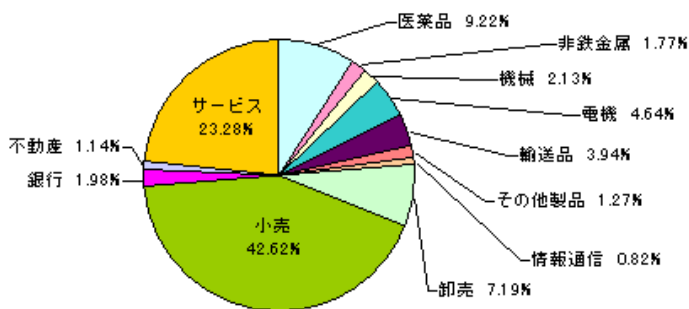
(※・・・「ひふみ投信」をお持ちのお客様の保有口数合計です)

### □ 組入比率の高い銘柄 (組入銘柄数: 34銘柄)

	銘柄名	業種	比率
1	総合メディカル	小売	4.27%
2	タビオ	卸売	3.60%
3	アスクル	小売	3.22%
4	ワタミ	小売	3.09%
5	ジェイアイエヌ	小売	3.03%
6	ニトリ	小売	2.97%
7	エス・エム・エス	サービス	2.81%
8	日本電産	電機	2.77%
9	ゼンショー	小売	2.56%
10	ファーストリテイリング	小売	2.50%

★組入比率は、株式・預金その他を含めた「純資産総額」に対する割合です。

### ■ 組入銘柄の業種比率



(注)業種比率は、「株式資産」を100として、それに対する割合です。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

商品分類	追加型投信／内外／株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。
途中換金	途中換金(解約)単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時(半日営業日は11時)までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。	

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～

コミュニケーション・センター

電話： 03-6266-0123 (平日9時～17時)

メール：[cc@rheos.jp](mailto:cc@rheos.jp)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。